

令和 3 年度 第 12 回 理事会議事録

日時：令和 4 年 3 月 9 日（水） 19：00～21:00

場所：WEB

[出席者]

理事：小嶺衛、立津統、末吉恒一郎、久高将臣、神谷喜一、仲宗根美紀、金城良和、
當間智史、宮里由乃、比嘉俊文、南部路治、当真祐二、玉城すみれ、武富新太郎、山
城忍

監事：仲西孝之、千知岩伸匡

書記：大宜見直輝

WEB 担当：上地誠之

[審議事項]

- ・ 第 1 号議案 入会の承認に関する件 ... 【資料ファイル 1】
- ・ 第 2 号議案 役員選挙システム製作及び運営管理の契約... 【資料ファイル 2】
- ・ 第 3 号議案 2022 年度収支予算に関する件... 【資料ファイル 3】
- ・ 第 4 号議案 沖縄県受託事業の受託に関する件
- ・ 第 5 号議案 特定費用準備資金積立限度額変更の件に関する件

議決に加わることの出来る理事数 15 名

出席者理事数 15 名

上記のとおり、理事及び監事の出席が確認され、代表理事小嶺衛が議長となって、本理事
会は Web 会議システムを用いて開催する旨宣言した。

議長は、理事小嶺衛、立津統、末吉恒一郎、久高将臣、神谷喜一、仲宗根美紀、金城良
和、 當間智史、宮里由乃、比嘉俊文、南部路治、当真祐二、玉城すみれ、武富新太郎、山
城忍、監事仲西孝之、千知岩伸匡は Web 会議の方法により本理事会に出席する旨を説明
し、Web 会議システムにより、出席者の映像と音声が即時に他の出席者に伝わり、出席者が
一同に会するのと同様に適時的確な意見表明が互いにできる状態となっていることが確認
されて、議案の審議に入った。

[報告事項]

1. 会長

※月次活動報告

2. 副会長

※月次活動報告

3. 事務局

※月次活動報告

4. 社会職能局

※月次活動報告

5. 教育学術局

※月次活動報告

6. 各種委員会

第 1 号議案 入会の承認に関する件

提出日：令和 4 年 3 月 8 日	提出者：上地誠之
担当局：事務局	担当部：総務部
議案主題	入会の承認に関する件 【資料ファイル 1】
議案内容及び提出理由	<p>【入会申請者】計 1 件 承認：1 件、否認：0 件、保留 0 件 令和 3 年度累計：102 名 (R3.4.1～R4.2.28)</p> <p>【会員動向】令和 4 年 2 月 28 日現在 ※連絡不能者含む</p> <ul style="list-style-type: none"> ・在会会員数：1498 名、施設所属会員数：1352 名、自宅会員数：146 名、休会：301 名 (前月 272 名) ・会員所属施設数：279 施設 <p>【期間会員動向】令和 4 年 2 月 1 日～令和 4 年 2 月 28 日</p> <p>※当協会入力状況から検索</p> <p>異動：30 名 (県内：28 名 転入：0 名 転出：2 名) (うち再申請：0 名 否認：0 名)</p> <p>休会：49 名 ※休会継続含む</p> <p>退会：9 名</p> <p>復会：</p>
審議内容	1 入会の承認について 質疑応答なし。
審議結果	賛成:13 名 多数で承認。
	担当局：事務局 担当部：総務部
備考	

第 2 号議案 役員選挙システム製作及び運営管理の契約に関する件

提出日：令和 4 年 3 月 9 日	提出者：久高将臣
--------------------	----------

担当局：選挙管理委員会		担当部：
議案主題	役員選挙システム製作及び運営管理の契約について	
議案内容及び提出理由	<p>役員選挙を執り行うにあたり、ITテクノロジーを駆使してオンラインで運用することで、投票の利便性向上、選挙予算の削減、さらには感染症対策としても有効であり、今後も継続的に運用できるシステムを構築していく必要がある。</p> <p>導入する選挙システムの制作及び管理運営について、内容及び業者選定の検討を行いました。導入にあたり、契約内容について審議いただきたい。</p>	
審議内容	<p>委託先業者：株式会社 Mwdimarl</p> <p>高度な専門性及び実効性ならびに事業展開の一貫性を図ることやホームページ運用会社と同会社に委託することで、Web 上でのコンタクトをより円滑に行え、軽微なシステム変更にも対応できる。</p> <p>業務期間：委託契約締結の日から令和 4 年 5 月 31 日まで</p> <p>委託費の支払方法：精算払いとする</p> <p>添付資料：見積書</p> <p>質疑：(末吉)随意契約となるのか→随意契約となる</p>	
審議結果	賛成:12 名 多数で承認。	
	担当局：事務局	担当部：総務部
備考		

第 3 号議案 2022 年度事業計画・収支予算に関する件

提出日：令和 4 年 3 月 9 日	提出者：神谷 喜一
担当局：事務局	担当部：財務部
議案主題	2022 年度収支予算書【資料 3】
議案内容及び提出理由	<p>2022 年度事業計画・収支予算案を 2 月 27 日に開催された予算編成委員会の審議内容を踏まえて策定した。</p> <p>ご審議頂きたい。</p>

審議内容	2022 年度事業計画・収支予算案の承認可否について 質疑応答なし。	
審議結果	賛成：14 名 多数で承認。	
	担当局：事務局	担当部：財務部
備考		

第 4 号議案 沖縄県受託事業の受託に関する件

提出日：令和 4 年 3 月 8 日	提出者：小嶺衛・久高将臣
担当局：会長・事務局	担当部：総務部
議案主題	沖縄県受託事業の受託について
議案内容及び提出理由	<p>沖縄県子ども生活福祉部高齢者福祉課地域ケア推進班より以下の 3 つの事業を受託する予定である。</p> <p>①「令和 4 年度地域支援事業等市町村支援アドバイザー事業」 ②「令和 4 年度多職種連携ケアマネジメント基盤強化促進事業」 ③「家族介護者支援に係る研修等事業」</p> <p>受託について審議いただきたい。</p> <p>これらの事業を通して専門職間の連携していく体制を構築及び強化することで、市町村事業に対する理学療法の提供などが期待される。定款第 4 条第 1 項「理学療法を通じて、県民の医療・保健・福祉の増進に寄与するための事業」ならびに 5 項「内外の関連団体との連絡及び協力に関する事業」に基づく。</p> <p>【委託元】沖縄県子ども生活福祉部 高齢者福祉介護課 地域ケア推進班 【契約期間】2021 年 4 月 1 日～2022 年 3 月 31 日（調整中） 【予算規模】①+②＝約 900 万円、③190 万円 【研修概要】社会職能局にて検討中</p>

審議内容	<p>検討1：受託の可否</p> <p>検討2：担当者の決定</p> <p>1と2は例年通り 3は新しく導入。以前にも話した。進捗状況は変わっていない。</p> <p>質疑：(南部)契約期間は間違っていないか→間違っている。契約期間は2022年4月1日～2023年3月31日 (久高)企画は社会局能局の力を貸して欲しい。</p>	
審議結果	<p>賛成：13名 多数で承認。</p>	
備考	担当局：	担当部：総務部

第5号議案 特定費用準備資金積立限度額変更の件に関する件

提出日：令和4年 3月 9日	提出者：小嶺 衛、久高 将臣
担当局：事務局	担当部：財務
議案主題	特定費用準備資金の積立限度額の変更について【資料】
議案内容及び提出理由	<p>当法人の10年前と比べて活動内容が多岐多方面に拡大したことから、当初計画の積立限度額では厳しいと判断し、限度額の増額を提案する。</p> <p>ご審議頂きたい。</p>

<p>審議内容</p>	<p>【現行】合計 200 万円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会場使用料 70 万円、食事代 30 万円、記念誌印刷製本 80 万円、記念講演 20 万円 ・令和 5 年度取り崩し <p>【変更案】合計 400 万円</p> <p>会場使用料 100 万円、食事代 80 万円、記念誌印刷製本 200 万円、記念講演 20 万円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和 5 年度 200 万円、・令和 6 年度 200 万円 <p>増額の可否について</p> <p>増額の金額について</p> <p>取崩額と次期について</p> <p>記念式典の時期、令和 6 年度の年度末を予定していた。 記念誌と式典を別個にしたいと依頼があった。 2 回に分けて取り崩ししたいと事務局は考えている。</p>	
<p>審議結果</p>	<p>末吉：費用の増額部分を教えてほしい。記念誌印刷製本の増額はどうか。食事代の増額はどうか。→事務局：記念誌については企画の段階から業者に入っていていただく。それ相応の金額を払わないといけない。食事代については前回は参加費を取っていない。→立津：今後は取っていきたいと考えている。→事務局：CD じゃなくて製本でいくと話あったと思います。</p> <p>末吉：他都道府県団体との比較も話したほうがいいのではないか。何らかの理由付けが必要か。→会長：内訳に関しては委員会に持ち帰って再度検討するか。</p> <p>賛成：14 名 多数で承認。</p>	
	<p>担当局：事務局</p>	<p>担当部：財務部</p>
<p>備考</p>		

公益社団法人 沖縄県理学療法士協会

会長 小嶺 衛

監事 千知岩 伸匡

監事 仲西 孝之